

(1) 10のライフステージや属性ごとの取組アイデア

子ども世代

“家族や暮らしの変化，学業や習い事などの忙しさから，異なる年齢や大人と関わる機会も減っているが，成長を通じた多くの可能性を秘めている世代”

子ども時代の思い出を地元でたくさん作ってほしい。北区の様々な人と出会い，色々な価値観に触れてほしい。まちはそんな風に考えています。

つながりが生まれると

- ・学校や年齢を問わない知り合いが増えるかも
- ・まちでの楽しい思い出が増えるかも



子ども世代

子ども世代とまちの
これからの“つながり”



まち

- ・まちに子どもの姿が多く見られるようになり，活気が生まれるかも
- ・北区を好きになり，大人になっても北区に愛着を持ち続けてくれるかも

コラム・事例・イラスト・写真など

寺社でのイベントや交流の事例
工夫されている地蔵盆（大將軍のスタンプラリーや大宮のエコなど）

ふくろう文庫などの新たな居場所
こども食堂の多様性
こども居場所支援

中学生の職業体験
小学生の総合学習の時間の活用

まちはこんなことに取り組みます

様々な価値観に出会えるように，北区の多様な人や場所，歴史，文化等に触れ合う機会をつくれます。

公園などを活用しながら，地域と子どもが関わるができる機会をつくれます

取組アイデア

- 公園，寺社等でイベントをするなど地域の資源をいかし，子どもが集まるきっかけをつくれます。
- 地蔵盆や夏祭りなどで，子どもが企画したことをまちで実現できる環境をつくれます。

子どもたちが多世代と共に安心して過ごすことのできる居場所をつくれます

取組アイデア

- 子ども食堂などを通じて，子どもが安心して集える地域の居場所を増やします。

子どもたちが北区の様々な人，仕事や暮らしに触れる機会をつくれます

取組アイデア

- 文化的・歴史的な背景が違うことによる価値観や特性，環境の違いに触れる機会をつくれます。
- 地域企業や農林業など，北区にある身近な職業を体験できる機会をつくれます。

“就職などで地域との関わりが薄れることも多いが、社会での新たな経験を積み重ね、
自分の可能性を模索しながら伸び伸びとした新しいアイデアを持っている世代”

新たな出会いから生まれるアイデアを、多くの人と共感してほしい。新しい情報やツール等をいかして、まちを楽しんでほしい。
まちはそんな風に考えています。

つながりが生まれると

- 様々な人とのつながりの中で、自分のアイデアを実現する機会が増えるかも
- 自分の得意なことが人の役に立つ経験ができるかも



若者世代

若者世代とまちの
これからの“つながり”



- 新しいアイデアを通じて、まちの取組が活性化するかも
- 若い世代の流行を通じて、新しいまちの魅力発信ができるかも

まち

コラム・事例・イラスト・写真など

北青少年活動センターイベントボランティア、居場所づくり、清掃ボランティアなど

パトロールランニング

キタキタ！やラジオなどのメディアの活用
北区内でのインターンの仕組み（民間での事例があれば）

まちはこんなことに取り組みます

流行に敏感な若者が出会い、そこで生まれるアイデアを実現できるように、同世代が集える機会をつくり、また、北区ならではのライフスタイルを知る機会をつくります。

若者のアイデアを地域で共有し実践する機会をつくります

取組アイデア

- 若者向けの生活情報を SNS や各種メディアを活用して発信します。
- 学区の夏祭りなどで、若者のアイデアや企画を実現できる環境をつくります。
- 地域への愛着の基礎となる、同級生のつながりの継続や、趣味や興味を通じた新たなつながりなどを応援します。
- 地域でこんなことしたい！を起点に、アイデアを集め、実践につなげる機会をつくりま

若者が安心して過ごすことのできる居場所をつくります

取組アイデア

- 北青少年活動センター等若者が安心して過ごせる居場所や活動を増やします。
- 地域の行事等を身近に感じ、安心して参加してもらうため、参加する同年代の参加者の声を紹介します。

北区に住み、働く人の暮らし方や仕事を紹介する機会をつくります

取組アイデア

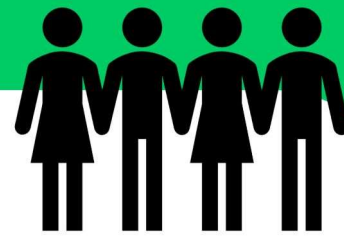
- 地域企業や農林業など、北区にある身近な職業を知る機会をつくります。
- 北区内の多様な事業所や北区内でいきいきと働いている人のライフスタイルなどを紹介し、北区内の就職先候補を増やします。

“社会での経験を積み重ね、様々なスキルや趣味、特技などを身に付けているが、人生の様々な転機や責任、 忙しさからストレスを抱えることも多い世代”

地域や人とのつながりを通じて、新たな楽しさや役割を見出してほしい。将来に向けて、豊かな生き方のヒントを見つけてほしい。
まちはそんな風に考えています。

つながりが生まれると

- まちでの活動を通じて、仕事等のストレスから解放され、ワクワク過ごせる時間ができるかも
- 自分の得意なことが人に役立つ経験ができるかも



働き世代

働き世代とまちの これからの“つながり”



まち

- 将来的に、まちに関わってくれるまちづくりの仲間（担い手）が増えるかも
- 様々なスキルや趣味を持つ人とつながることで、まちの活動の幅が広がり、まちの魅力が高まるかも

コラム・事例・イラスト・写真など

紫竹ローマクラブ（ゴルフクラブや料理クラブなどの同好会）

地域でのサークル活動や交流の機会など

大学や文化施設等での講座やイベントの例

地域企業や農林業などを知る機会の例

まちはこんなことに取り組みます

充実した生活を送れるように、楽しみながら関わることが出来る、
仕事や家庭以外のコミュニティを提案します。

これまでに培われてきた多様な経験やスキルをまちづくりや社会貢献につなげる 仕組みをつくります

取組アイデア

- 地域の会議や活動などの時間短縮や役割の分散など地域活動への負担を軽減し、参加しやすい環境をつくります。
- SNS や各種メディアを活用し、地域の文化やまちづくりなどに関する情報を分かりやすく発信します。
- 趣味や特技をいかし、楽しみながら地域課題解決を図るような、気軽に参加できるまちづくり活動を推進します。
- 働き世代のアイデアを活用し、地域企業等が社業を通じて地域と共に発展し、地域コミュニティの中でビジネスアイデアが生まれるような機会をつくります。

楽しく健康であり続けるために、まちでの学びや交流を育む機会を増やします

取組アイデア

- 大学や文化施設等での講座やイベントを通じ、生涯にわたる学びや交流の機会をつくります。

北区に住み、働く人の暮らし方や仕事を知る機会を増やします。

取組アイデア

- 地域企業や農林業など、北区にある身近な職業を知り、視野を広げる機会をつくります。

“仕事や子育ても一段落つき、自分のために使う時間が増えてくる一方で、 生活基盤の変化や介護などに悩むこともある世代”

これから先の健康な生活のために、趣味を楽しみながら体力を付けてほしい。特技や経験をいかした、新たな出会いを楽しんでほしい。
まちはそんな風に考えています。

つながりが生まれると

- 健康でいきいきとした生活が維持できるかも
- まちに新たな居場所やまちづくりの仲間ができるかも



高齢世代1

高齢世代とまちの これからの“つながり”



まち

- 北区で趣味や特技を楽しむ元気なシニアが増えて、まちが元気になるかも
- 様々なスキルや趣味を持つ人とつながることで、まちの活動の幅が広がり、まちの魅力が高まるかも

コラム・事例・イラスト・写真など

プロボノ（持っている知識やスキルを無償提供して社会貢献する）の例
お宝バンク（まちづくりの取組提案を募集し、「お宝バンク」に登録・公開する。）

誰でも参加できるみんな食堂のような事例

地域での各種団体の活動の例（楽し楽し教室など）

まちはこんなことに取り組みます

これまでの社会での経験や特技をいかした出会いを育めるように、
新たな居場所を創出します。

地域活動に関する豊富な知識や経験を次世代に伝える機会をつくります

取組アイデア

- 長年にわたる社会での経験や趣味、特技を活かせるよう、NPO・ボランティア団体の活動や地域活動に参加したくなるようなプログラムや仕組みをつくります。
- 地域活動への経験を次の世代に伝えるためのサポートを行います。
- 地形や危険箇所など、地域に長く住み続けていることで知れる情報を集積し、地域の防災力を高めます。

多世代で対話する機会をつくります

取組アイデア

- 介護等の不安や悩みを和らげる交流の機会やネットワークづくりを進めます。
- 孤食の解消を目指した多世代が集う居場所（みんな食堂）を増やします。

これまでの経験や地域に根付く歴史・文化を次世代に伝える機会をつくります

取組アイデア

- 自身の長年にわたる経験や地域に根付く歴史・文化を次世代に伝える機会をつくりま

“健康面への不安から、外出する機会や他人との接点が少なくもなることもあるが、 豊かな経験や関係を次世代に継承する世代”

心身の健康のために、多くの人と関わる機会を持ってほしい。有事の際に、本人も家族も安心して過ごせるように、ご近所の方と交流する機会を増やしてほしい。まちはそんな風に考えています。

つながりが生まれると

- ・外出や人付き合いが増えて、生活がより楽しくなるかも
- ・もしもの時（災害時など）にも地域が支えになって不安なく過ごせるかも



高齢世代2

高齢世代とまちの これからの“つながり”



まち

- ・元気な高齢者が増えて、まちが元気になるかも
- ・災害時に円滑な避難行動ができるようになり、まちの防災性が高まるかも

コラム・事例・イラスト・写真など

地域での要支援者への見守り活動（大宮ほっとかへんで運動 など）

小野郷スマホ講座（ライン講習会）

北青少年活動センターでの聞き書きによる伝記作成など

誰でも参加できるみんな食堂のような事例
地域での各種団体の活動の例（楽し楽し教室など）

まちはこんなことに取り組みます

心身の健康のために多くの人と関わり、まちで安心して暮らせるように、外出のきっかけづくりや災害等の有事の際にも安心できる体制をつくります。

住み慣れた地域で安心して暮らすことができるようサポートを充実します

取組アイデア

- 外出する機会が減ってしまった高齢者が、近所で外出したくなるきっかけづくりや、安心して外出できる環境をつくります。
- ライン講座を開催するなど、スマートフォン等の使用を通じて、家族や地域との交流の機会を増やします。
- 身体が不自由な人などが、災害時でも安心して避難生活を送るための避難所の備えを充実します。
- 災害時の情報が伝わりにくい高齢者が安心して避難できるような連絡体制を構築します。

地域の身近な場所で、元気に暮らすためのきっかけづくりを行います

取組アイデア

- 孤食の解消を目指した多世代が集う居場所（みんな食堂）を増やします。
- 気軽に通える場所で、スポーツや文化活動を通じた交流の機会を増やすなど、地域に安心できる居場所を増やします。

これまでの経験や地域に根付く歴史・文化を次の世代に伝える機会をつくります

取組アイデア

- 自身の長年にわたる経験や地域に根付く歴史・文化を次世代に伝える機会をつくります。

“日々研究や経験を積む一方、大学周辺の地域や北区のことを知る機会が少ない人たち”

北区の様々な人と交流し、学びや経験を広げてほしい。大学卒業後も、北区に住みたいと思ってほしい。
まちはそんな風に考えています。

つながりが生まれると

- ・色々な世代や分野の人との交流が生まれ、大学での学びや実践が深まるかも
- ・様々な出会いや体験ができ、第二の故郷と思えるような場所になるかも



大学生

大学生とまちの
これからの“つながり”



まち

- ・他府県に北区の魅力を発信できる機会が生まれるかも
- ・将来的に北区に住んでくれる人の増加につながるかも

コラム・事例・イラスト・写真など

サークルの地域活動事例（立命館大学AVAなど）
FASTなどの学生防災活動団体
消防団の大学生隊員
PBL(課題解決型学習)など大学による地域活動の仕組み

北青少年活動センターの清掃ボランティアなど

キタキタ！やラジオなどのメディアの活用
北区内でのインターンの仕組み（民間での事例があれば）
次世代下宿「京都ソリデール」事業（京都高齢者生活協同組合くらしコープなど）

まちはこんなことに取り組みます

在学中に北区の様々な人と交流し、北区に愛着を感じられるように、大学生と共に取り組む内容を充実させるとともに、北区に住み、働く機会につながる情報を伝えます。

地域の交流により、大学生にまちに愛着を感じてもらえる機会をつくります

取組アイデア

- 地蔵盆や夏祭り、学園祭などのイベントに、大学生と地域がお互いに参加できる機会をつくります。
- 町内掲示板や大学の広報などを用いて、地域活動や防災情報に触れる機会をつくります。
- 夏祭りや地域のサロンなどに、サークル等の発表の機会を設けます。
- 研究の対象や実践の場として地域を活用してもらうため、学生、大学、地域、企業、区役所等の多様な主体が、互いの課題や資源を提供できる場をつくります。

学外で、持続可能なまちを目指した取組に参加できる機会をつくります

取組アイデア

- 生活に身近な公園や道路等の美化活動を楽しみながら行い、まちを知る機会を増やします。
- 山間地域の持続可能性確保に向けて、北山の緑や賀茂川の水辺環境等の豊かな自然環境を共に守る活動を通じて、環境への意識を醸成する機会をつくります。

北区の元気な事業所やいきいきと働いている人のライフスタイルなどを紹介する機会をつくります

取組アイデア

- 地域企業や農林業など、北区にある身近な職業を体験する仕組みをつくり、北区への就業につなげます。
- 多様な地域企業やいきいきと働いている人のライフスタイルなどを紹介し、北区内の就職先を伝えます。
- シェアハウスやコワーキングの充実など、北区に住み働きやすくするための、環境づくりを進めます。

子育て
する人

“子育てという新たな経験から、困りごとや悩みごとが増え、時間的にも余裕を持ちづらい一方で、
子育ての楽しさや経験を通じた、新しい視点を持つことも多い人たち”

悩みや困りごとを抱え込まず、まちでの様々な機会を通じてリフレッシュしてほしい。
子育ての喜びや苦労を、経験がない人も含む多くの人と分かち合ってもらいたい。まちはそんな風に考えています。

つながりが生まれると

- 子育ての悩みや困りごとなどが共有できる仲間が増え、孤立や不安が少なくなるかも
- 子どもを通じて、地域の新たな魅力を知る機会が増えるかも



子育てする人

子育てする人と まちの
これからの“つながり”



まち

- まちとの関わりが持ちにくい人への対応を考えることで、従来のまちの活動が効率化するかも
- 地域全体の子育て意識の向上により、子育てに優しいまちになるかも

コラム・事例・イラスト・写真など

レスパイト（子どもを預けてリフレッシュ）の取組事例

文化フェスティバルや北区 WA のこころ創生事業の活用

大谷大学 キッズキャンパス など

子育てサロンの取組など

まちはこんなことに取り組みます

子育てする人が悩みを共有でき、楽しく集えるような場所を増やせるように、
まちに関わりたと思える環境をつくります。

子どもを連れて地域活動に参画できる環境をつくります

取組アイデア

- 急な用事への対応や息抜きの機会を確保できるよう、一時預かりなど地域で子育てをサポートする仕組みを増やします。
- 初めての人も地域の様々な行事に参加しやすいよう、既存の地域活動の内容を分かりやすく発信します。
- 時間短縮や託児スペースを設置するなど、地域の会議や活動などに親子でも参加しやすい工夫をします。

子育てなどの悩みを共有できる機会や、 持続可能なまちについて考える機会をつくります

取組アイデア

- 子育てによる不安や悩みを和らげる交流の機会やネットワークづくりを進めます。
- 大学や自然活動団体等と連携した、子どもが学べる生き物観察会、昆虫採集教室などを開催します。
- 鴨川や山間部などの豊かな自然を、親子で体験し自然の大切さを学べる教室やイベント等を実施します。

自然や歴史・文化資源を楽しく学べる場をつくります

取組アイデア

- 北区に住む文化人などが講師となり、生活文化も含めたホンモノの文化や芸術を分かりやすく紹介したり体験できる講座を親子向けに開催します。
- 北区で採れた野菜の販売等を通じて、地産地消に向けて取り組みます。

“まちなかから近くにありながら，豊かな自然に囲まれた暮らしを送る一方， 急激な人口減少も進む北部山間地に暮らす人たち”

文化や暮らしなど，北部山間地の多様な魅力を伝えてほしい。地域外の身内や関心のある人が，
北部山間地に関わる機会をたくさんつくってほしい。まちはそんな風に考えています。

つながりが生まれると

- ・移住や観光など，地域の持続に向けた人との交流が増えるかも
- ・大学等地域外の人や地域外に出られた身内の人と共に新たな地域活動が生まれるかも



北部山間に
暮らす人

北部山間地に暮らす人とまちの これからの“つながり”



まち

- ・豊かな自然や暮らし，人の温もりなどに触れ，新たなライフスタイルが見つかるかも
- ・身近なエリアで山間地のまちおこしに協力する機会が増えるかも

まちはこんなことに取り組みます

地域内外の交流が円滑に行われるように，多くの人に北部山間地へ足を運んでもらう機会を創出し，地域の魅力を発信します。

地域外の人と関わりながら， 改めて地域の良さを実感してもらう機会をつくれます

取組アイデア

- 大学生等地域外の人に参加しやすいイベントなどを実施し，関係人口を増やします。
- 地域外に住んでいる家族に地域の様々な情報を共有し，交流や参加の機会を増やします。

豊かな自然環境をまちの財産として大切に守り育てるまちづくりを進めます

取組アイデア

- 大学や自然活動団体等と連携するなど，自然と人の関わりや山村の暮らしを学び，体験できるようなイベントを実施します。
- 休校中の学校や，地域内にある拠点を活用し，自然体験学習の機会をつくれます。

北部山間地の暮らしの様々な側面を共有し， 地域の持続可能性の確保に向けて取り組みます

取組アイデア

- 地域住民にとって関心が高い，防災やコミュニティ活性化などの情報について，地域を越えた情報交換の機会をつくれます。
- 空き家や休耕田・山林の新たな可能性を検討し，移住者の受け入れを促進します。
- 地域の持続可能性の確保に向けて，林業を核としながら，豊かな自然をいかした産業の活性化に取り組みます。
- 自然と共存したライフスタイルなど北部山間地で実現できる地域の魅力を発信します。

コラム・事例・イラスト・写真など

北山三学区の夏祭りや運動会

北山三学区ウェブサイト

山仕事サークル「杉良太郎」の取組
大谷大学アンドハウスの活動内容

移住促進委員会の活動事例

障害の
ある人

“障害について、人に共有する機会が少なく、苦労することがありつつも、 様々な課題を乗り越えて暮らす人たち”

障害がありながらも、不安なく生活できるよう、ご近所の方との交流の機会を増やしてほしい。
生活する上での苦労や様々な経験を多くの人と共有してほしい。まちはそんな風に考えています。

つながりが生まれると

- 障害への理解が進み、生活しやすくなるかも
- ちょっとしたときに助けてくれる人が増えるかも



障害のある人

障害のある人と まちの これからの“つながり”



まち

- 障害のある人への配慮を通じて、誰もが住みやすいまちになるかも
- 災害時に円滑な避難行動ができるようになり、まちの防災性が高まるかも

コラム・事例・イラスト・写真など

北青少年活動センターの清掃ボランティアなど

フナオカスタンダード・北コミ祭り

京都ライトハウスや京都府立盲学校等での取組事例（京都ライトハウスまつり、あいあい教室など）

まちはこんなことに取り組みます

障害のある人が抱える生活の中での不安が軽減されるように、様々な機会を通じて交流を生み、地域での対話の機会を増やします。

災害時に障害に対応した避難ができるように平常時から準備を進めます

取組アイデア

- 日々の生活の中で、地域に住んでいる障害のある人に気軽に話しかけ、サポートができる雰囲気をつくります。
- 障害のある人が学区の夏祭りや運動会、学園祭等へ参画しやすい環境を整えます。
- 障害のある人の避難行動や避難生活に対応できるよう、障害のある人も参画した防災計画づくりや防災訓練を実施します。
- 障害のある人が多く参加されるイベントに、防災ブースを設置します。

障害のある人への理解を深めながら、 誰もが安心して生活できる環境をつくります

取組アイデア

- 障害者施設と地域が連携し、障害のある人が地域活動に参画できる環境を整えます。
- 障害のある人の家族の不安や悩み等を和らげる交流の機会やネットワークづくりを進めます。

障害や障害のある人を知る機会をつくります

取組アイデア

- 京都ライトハウスや授産所、京都府立盲学校等の取組や、障害のある人の活躍等を知る機会を増やします。

外国から
来た人

“観光や仕事，留学などで日本に来訪し，多様な文化的背景を持ちあわせているが，言葉や文化の違うなか，周辺の地域や人との接点が少ないことで不安もある人たち”

言葉や文化などの様々な違いを，楽しんでほしい。
北区で過ごす時間を通して，日本を好きになってほしい。まちはそんな風に考えています。

つながりが生まれると

- また訪れたいと思える場所ができるかも
- 自分の国とは違う文化や生活，人をよりよく知れる機会が増えるかも



外国から来た人

外国から来た人と まちの
これからの“つながり”



まち

- 海外に向けて，まちの魅力を発信できるかも
- 外国から来た人との交流で，異なる国の文化を知ることができ，地域の魅力や人材に改めて気づくかも

コラム・事例・イラスト・写真など

外国語を話せる人のマッチング事例

地域や地域企業での外国人への特徴的な取組

ボーダレスハウスなどの交流事例
留学生と地域の交流事例

まちはこんなことに取り組みます

互いの文化を理解し尊重し合えるように，イベント等を通じた，参加や交流を促す工夫をします。

北区での滞在や暮らしを快適で豊かにするためのネットワークづくりを進めます

取組アイデア

- 地域に住む外国から来た人等が困りごとを気軽に相談できるように，外国語を話せる住民情報を共有します。
- 地域に住む外国人同士のネットワークづくりをサポートします。
- 外国から来た人に避難場所はもとより，災害時の対応を分かりやすく伝えます。

北区の魅力を感じながら楽しく過ごしてもらえる取組を進めます

取組アイデア

- 大学や地域企業などと連携し，外国から来た人が，地域の祭りやイベントなどへ参加しやすくするための工夫や仕掛けをつくりま

北区を知ってもらうだけでなく，外国の文化にも触れる機会をつくりま

取組アイデア

- 大学，日本語学校，地域企業など外国から来た人が通う施設と連携しながら，日本と外国の文化をお互いに紹介するような機会をつくり，異文化交流を進めます。